2020-21 年度
国際ロータリーテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
Rotary Opens Opportunities
2020-21 年度クラブテーマ
「地域の奉仕ニーズを捉えられる
クラブ作りに取り組もう」

週　報　第２５８５回

２０２０年１０月２３日
八千代ロータリークラブ　CLUB NO.15070

今回例会行事　　テーマ：月見の会（新入会員歓迎会）
担当：親睦活動委員会･ＳＡＡ　　場　所：太平洋クラブ八千代コース

次回例会　１１月６日　　テーマ：私の人生
担　当：雑誌・クラブ広報委員会　　卓話者：寺沢　一三会員

◆◇◆◇第2584例会◇◆◇◆

司会　浅野正幸

「我らの生業」

お客様

社会福祉法人翠燿会
理事長　津川恵美子様
勝田台地域包括支援センター
センター長　武田信子様

会長挨拶

会長　市原正男

皆様こんにちは
日本のロータリーは本年100周年を迎えますが、一貫して奉仕活動に取り組んできたわけで有りますが、最近は、企業の中にも各種の慈善活動に取り組んでいる事例が増えております。当クラブの会員の中には株式投資をやられている方も多いですが、ESG投資と言う言葉を聞いたことが有りますでしょうか。Eとは環境（Environment）、Sは社会（social）、Gは企業統治（gavanance）と言う事になりますが、つまり、今までの企業評価は会社の業績や財務状況が判断材料と言う事でしたが、最近はこれらの指標の他、「環境への取り組み」、や「地域社会への貢献活動」、などに積極的に取り組んでいるかと言う評価も含めて選定されるようになっており、実際、これらの活動を積極的に行っている企業のほうが、長期的には利回りが良いというデータも有り、投資信託などにも取り入れられているようです。

そんな中、ある企業の事例を紹介させていただきますが、ご近所に有ります、皆様ご承知のイオンですが、「幸せの黄色いレシート運動」と言う活動をご存じでしょうか？毎月11日のイオンデーにお買い物をすると、レシートは黄色いレシートとなります。レシートを入れるボックスが有るのを見たことは無いでしょうか。この活動の概略を説明すると、地域で活動しているボランティアの団体がイオンに申し込みをし、承認されると、レシートを入れるボックスが割り当てらます。11日に買い物をした方はこの黄色のレシートを応

援したい団体のBOXに投入します。その額を1年間集計し、合計金額の1%の商品をイオンが提供すると言う制度です。
数字を調べたら、2001年から取り組んでおり、集まったレシートの金額の合計が3400億円だそうですので、全国の様々なボランティア団体に1%としても34億円の物品が提供されたわけであります。

私がこの活動を知ったのは10年ほど前になります。私が、以前PTA会長を務めていた、睦中学校に、学友会と言う組織が10年前に立ち上がりましたが、発起人の元校長を卓話でお呼びしたことがあるので、覚えている方もいると思います。この団体は文科省が推奨する、「学校地域支援本部」と言う考えで、学校と地域の連携を推進し、地域ぐるみで学校の活性化を図ると言う活動で有ります。今でもこの団体は学校単体で、シンガポールの学校と毎年派遣、受け入れを交互に実施する国際交流事業などを展開しておりますが、何しろ、皆様からの寄付のみが頼りの団体な為、収入源が乏しいです。

当クラブの会員の中には卓話ののち、今でも毎年寄付を頂いておる方もおりますが、そんな中、役員会で出たのがこのイオンさんの黄色いレシートの事業であります。ただ、ライバルも多いので、毎月11日には今でもこの団体からは、役員や学生がBOXの前に立ち、営業活動を展開しております。実際、団体で使用する、事務用品や、備品などはこの活動によりいただいたチケットを利用させていただき、相当、役だたせていただいています。

ひと昔前までは、奉仕活動は、ロータリーやライオンズの専売特許と言う事だったのでしょうが、今や、企業は利益を上げることは元より、奉仕活動に積極的に取り組む姿勢を見せると評価も上がると言う事で、そんなことは有ってはならないはずですが、評価を上げることだけが目的の奉仕活動をする企業も相当増えてきているのではないかと思われます。

そんな中、前回紹介した、ビルゲイツ財団の話ではないですが、ロータリークラブ自体の今後の在り方も問われるような大きな転換期に来ているような気がするのは私だけでしょうか。

今回は、民間企業による奉仕活動の報告をさせていただき、挨拶とさせていただきます。

幹事報告　　八千代RC幹事　江頭泰利

・9/25のクラブ協議会をふまえて、クラブ戦略計画特別委員会を開催し、委員会改正案、細則案等について審議致しました。来月の理事会にて審議し、今期の目標を達成していきたいと思います。

・コロナ禍での出席免除承認願について、健康上の理由の為に出席規定の適用を免除されたいという書式を作成しましたので、希望される方はご提出下さい。

委員会報告

親睦活動委員会　　　委員長　江口茂勇

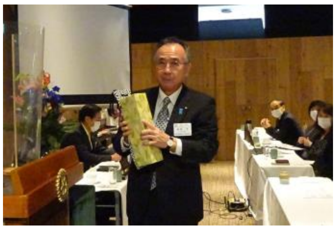
月見の会開催　日時:10/23　18:00点鐘
場所:太平洋クラブ八千代コース
バス:17:00　勝田台駅出発

クリスマス家族会についてのアンケートに回答をお願い致します。

お祝い

本人誕生日:
　中村賢治会員

結婚記念日:
　風間　茂会員



夫人誕生日:　小村美枝子様

例会行事

社会奉仕委員会　　　委員会　朝戸健夫

本日のテーマは「今から考える老後の話」で、八千代市の老人福祉の草分け的存在である翠燿会理事長の津川恵美子様と勝田台地域包括支援センターのセンター長武田信子様にお越し頂きました。どうぞよろしくお願い致します。

テーマ:「今から考える老後の話」～自立した老後を過ごすために～

卓話者:社会福祉法人　翠燿会
理事長　津川恵美子様

本日はお招き頂き、ありがとうございます。グリーンヒルは昭和56年に八千代市で初めて、千葉県では26番目の特別養護老人ホームとして誕生し、今年40周年を迎えました。当時は50床でスタートし、その後増床し現在は120床で運営しております。その頃は介護という事も、あまり一般的ではなく、特別養護老人ホームという名称もごく一部の限られた方にしか知られていない時代でした。現在は県内に老人関係の施設が500弱あると聞いております。平成19年には八千代台に高齢者複合ケア施設としてグリーンヒル八千代台を設立し、13年が経ちました。4年前に八千代ロータリークラブにお邪魔して卓話をした際には、外国からの技能実習生の話を致しました。あれから4人のベトナムの女性が実習生として就職しました。11月末にはまた2名、ベトナムから実習生が来る予定です。介護の現場では慢性的な人手不足が続き、これからも外国の実習生等の力に頼らざるを得ないという状況です。グリーンヒルは高齢者の福祉から始まっておりますが、高齢者以外の事業として、5年前に発達障害の児童の放課後デイサービスを開始し、現在村上駅前と、八千代中央駅前で運営しております。昨年の春からは様々な理由により家庭で生活が出来ない、20歳までの若者の支援する自立援助ホームを高津で行っています。

また、現在はコロナ禍で中止しておりますが、昨年春から八千代台グリーンヒルの部屋を利用して子ども食堂を始めております。この子ども食堂は、子どもと共に、高齢者の方、障がいを持った方に向けた共生型カフェに展開できればと考えております。現在は児童の問題も様々ありますので、今後は高齢者の福祉のみならず、必要な事をサービスに繋げて行きたいと考えております。

本日は父、朝戸健志の生前にも1度お招き頂きました、武田よりご報告致します。どうぞよろしくお願い致します。

勝田台地域包括支援センター
センター長　武田信子様

今年は、予期しない新型コロナ感染症の発症により、皆様の生活ではどのような変化を体験されているのでしょうか。自ら感染しない様に予防する事はもちろんですが、仕事や日常生活の外出自粛などにより精神的にも身体的にも社会的にも大変な日々を送っているのではないかと思っております。早い収束を願いたいものです。

今回のテーマである『今から考える老後』ですが、皆様は『老後』と言われたら何を思い浮かべますか。私は、現役を引退した時かと思っていますが、皆様は如何でしょうか。企業家の方が多いと伺っています。後継者に今の座を譲った時でしょうか。年金生活に入ったらでしょうか。運転免許更新で高齢者講習を受ける時でしょうか。自分自身が年齢ではなく気持ちが老いを感じた時でしょうか。体力問題を感じた時でしょうか。孫が出来た時などのライフイベントがきっかけでしょうか。

これから迎える老後（高齢）について、考えたことがありますか。自分自身や家族にいろいろな変化等が起こりやすくなります。何かと今後について考える事が出てくるかと思います。自分は、これからの人生をどう過ごしたいか。自分は何を大切にしたいのか。自分が信頼できる人は誰なのか等漠然とでも自分の意見として家族に知っておいてもらう事は、今後の生活で大事なことになってくるかと思います。高齢になるとちょっとしたきっかけで、身体や精神・心理的、社会的にバランスを崩すことがあります。それに伴って日常生活動作が低下し、生活機能障害（フレイ

ル)を起こしてしまいます。そのような事が起きると、日常生活に支障が出るようになります。治療や介護が必要な状態になります。その時に、治療や介護をどうしたいか等決定が必要な場面に出会いますが、そのような状態が起こった時には、動揺して正しい判断が出来ません。目先だけで判断してしまう可能性もあります。そうならないように、日頃から家族で話し合う機会を持つことが大事になります。是非、元気な時から、何度でも家族と話せる機会を作っておくことは大切だと思います。厚生労働省は、これを人生会議(ACP)として提案をしています。

今年は、予想しないコロナ禍の中で、特に家族の話し合いの必要性を感じたことではないでしょうか。地域包括支援センターも今年は複雑な相談をいろいろ受けました。その一つが病院で検査を受け癌の末期で、余命3か月と告知されたという相談です。家族は路頭に迷いながら、地域包括支援センターに相談がありました。そこで家族といろいろ話をさせてもらい、一番は本人がどうしたいか、家族はどうしたいかを聞かせてもらいました。本人も家族も普通なら病院で、最善の治療を受けながらの看取りを希望されたと思いますが、コロナの問題で病院は面会もできない状況でした。入院することで、治療の安心は得られますが、家族として最期を白いベッドの上で、家族の見守りもなく一人で他界させてしまうことは、あまりにもつらいと話を受け、自宅で看取る決断をしました。コロナ禍の今年だから、迷いもなく家族は、決断できたのかもしれません。それを決めたことにより、自宅で看取りをするためにはどのような準備が必要か、医療や介護や生活環境をどう整えるか、専門職のアドバイスとして提案し進めました。結果的に自宅で看取り、最後の時間を家族と過ごし、見守られながら他界されました。家族のいろいろな思いは残っているかとは思いますが、悔いなく向き合えた事の満足感を体験され、その後、家族とお会いしても悔いは残っていない感じを受けました。

この例のように、皆さんが同じようにできるわけではありません。一人一人の条件等が皆違います。だからこそ、身近な家族と気軽に話し合いをする機会を何度でも繰り返しておくことが大切だと思います。

家族だけでは、どんな検討をしていけばよいかわからない時は、地域包括支援センターに相談してみてください。気軽に相談できる窓口として平成18年4月に地域包括支援センターが設置されています。八千代市内の生活圏域に地域包括支援センターが6か所設置されています。各センターには3職種(保健師または看護師、社会福祉士・主任介護支援専門員)の専門職が配置され、医療・介護の相談に対応できるようになっています。

高齢者も若い方もそうですが、日頃から「家族」「ご近所」「地域」をしっかり意識して生活を心がける事が大切かと思います。地域包括支援センターは、皆様の身近な相談窓口です。地域の高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で医療・介護を受けながら安心して暮らし続けられるよう、支援を行う機関となっています。是非、気になることがありましたら気軽にご相談ください。

ニコニコBOX ￥15,000-

☆結婚45周年を迎えました。　風間
☆津川様、武田様よろしくお願い致します。
市原・遠藤・杉山・風間・櫻井・君塚欣哉
浅野正幸・中島貞好・江口・飯生
☆先週休みました。　植村

友愛 BOX ￥33,000-

☆51歳になります。良い事ないです。　中村
☆美しい花ありがとうございました。　小村
☆津川様、武田様よろしくお願い致します。
朝戸・江頭・鈴木利雄・宮野・浅野正敏・渡邉
三井・飯生・安宅・飯田・池田・佐久間・菊川
佐々木・日下部・青木・山浦
☆良い季節になりました。　杉山
☆先週欠席しました。　栗原・小村

近隣クラブ例会日		例会場
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフクラブ
火曜日	八千代中央R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館
水曜日	佐倉中央R.C	第1ｳｨｼｭﾄﾝﾎﾃﾙ･ﾕｰｶﾘ第3夜間ｵﾘﾍﾞｰﾄ
木曜日	佐倉R.C	フランス料理　シェ・ムラ
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館

	会員総数	出席対象者	出席者	%
10/16	54	48	43	89.58

11月のロータリーレート　1ドル￥***

■クラブ会報委員会　委員長：稲山雅治　副委員長：日下部良夫
■出席委員長　池田　建　※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。
■例会日　金曜日 12:30～13:30
■例会場　ﾊﾟｯｿ･ﾉｳﾞｨｰﾀ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F　FAX047-450-0050)